

清里 まちづくり

No.18

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

まえりあ清里

で検索

市政懇談会で「清里焼き」をふるまつ

8月5日（木）に清里公民館ホールで開催された市政懇談会に、清里地区内の関係者70名ほどが出席しました。

今年度のテーマは「観光」でしたが、懇談会に先立ち、清里まちづくり協議会・教育部会の皆様により、清里産の枝豆、玉ねぎを使った「清里焼き」がふるまわれ、好評を博しました。

引き続き行われた懇談会では観光を通じて清里地区を生かす貴重なアイデアなどがたくさん提案され、おおいに盛り上がりました。



「清里焼き」をふるまつ教育部会員

自治会で子どもの安全守るタスキ作成

2月に清里小学校6年生を対象にした清里焼きの実習を清里小学校家庭科室で行いましたが、今年度も清里小学校の協力をいただいて、8月31日（火）に開催することができました。清里地区で生産される枝豆と玉ねぎを使った「清里焼き」を作ることで、私たちの暮らす清里地区をより身近に感じることができる一日になつたのではないかでしょうか。

今年度も清里小六年生が清里焼き実習

子どもの安全を守るために取り組みが、自治会単位で進められていますが、ボランティアとして協力をしていただける皆様が活動する際に着用するタス

キを作成し、各町に二十本ずつ配布されました。安全安心なまちづくりのために地区内の多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

いきいきサロンで前橋西高校と交流

各町で月一回開催されている「ふれあいいきいきサロン」ですが、このほど前橋西高校・家庭科クラブ（内田教諭指導）の部員が二町の「ふれあいいきいきサロン」を訪問し、参加されている方々と交流を深めました。



冒頭に挨拶する高木政夫市長



清野町集会所での七夕飾りづくり

訪問したのは、8月2日（月）の池端町と清野町で行われた七夕飾りづくりでした。両会場とも七夕飾りづくりを通じて高齢者と高校生が談笑している姿がとても印象的でした。

前橋市内の地域づくり団体と 前橋地域づくり連絡会

平成二十一年度

桃井・中央・永明

今回は、前橋市内の地域づくり団体と「前橋地域づくり連絡会」についてお話しします。

前橋市内には、「清里まちづくり協議会」のような自治会連合会を単位とする地域づくり団体が、現在十八ほど存在します。（注1）

この自治会連合会を単位とする地域づくり団体は、前橋市の指導により平成十八年度から結成が始まりました。

背景には、新潟中越地震などの自然災害や子どもたちが犠牲となる事件が相次ぎ、「地域コミュニティが再評価」されたことや防災、防犯対策、子育てや高齢者への対応、環境保全などの地域の課題解決のために住民自治が必要と認識されるようになつたことがあります。また、現在十八ある各地域づくり団体は一度にまとめて結成されたわけではなく、年度を追つて順次増加してきました。結成状況は、以下のとおりですが、なかでも「清里まちづくり協議会」は、第一期に結成された最古参の団体となっています。

平成十八年度

清里・上川淵・桂萱・大胡

平成十九年度
若宮・芳賀・総社・宮城・柏川
平成二十年度
南部（南町、六供町）・天川・下川

淵・東・元総社

そして、これらの地域づくり団体が情報交換や連携活動を進めるために、平成21年2月に結成したのが「前橋地域づくり連絡会」です。

主な活動として、活動発表や意見交換の場である「地域づくり推進大会」や情報交換などのための定例会議を行っています。なお、地域づくり団体や「地域づくり連絡会」については、前橋市のホームページ内の「地域づくり協議会・自治会」に掲載されていますので、「興味のある方は」「ご覧ください」。

（注1） 現在、平成22年度中の結成を目指し、富士見・城南地区で地域づくり団体結成にむけて準備が進められています。（松下 均）

清里公民館での取り組みから

お持ちの知識や技術を
清里地区のために
ボランティア講師として
生かしていただきたいのです。
学びのボランティア募集しています

・青梨子町前原 盛大に納涼祭

2年に一度の前原メインイベント

「前原納涼祭」は、去る7月31日(土)

盛大に開催されました。

心配された雨は開幕直前にぱらつきましたが、終始天候に恵まれて多数の方々の来場をいただき賑わいました。午後4時に始まった子ども会主催に

しました。

お持ちの知識や技術、技能、特技などを生かして、地域のために、ボランティア講師としてご活躍いただける方々（自薦、他薦を問いません）を募り、活動していただくものです。

趣旨に賛同していただき、ご協力いただける方は、住所、氏名、連絡先、ご活躍出来る分野、都合のつく曜日、時間帯などを清里公民館までご連絡をいただきたいと存じます。

その後、清里公民館などで調整を行い、開催可能であれば「学びの体験教室」コースとして先導的な学習を行います。学習終了後、受講された方々から学習グループの組織化、継続化についてご希望があつた場合には積極的にお手伝いさせていただきます。併せて舞台発表や作品展示、講演会なども可能であれば実現したいと思います。申し込みは清里公民館で随時受け付けております。

（栗岡 茂）



町内を練り歩く子どもみこし

よる、御神輿、ビンゴゲーム、スイカ割り、花火など。一部は民謡踊り、フォークダンスに加え八木節（西謡会）、南中ソーラン節（まちづくり・だんべえ会）が熱演されて、祭りも最高潮に達しました。

一方、模擬店も数多く出店、金魚すくい、焼きそば、焼き饅頭、かき氷、ところてん、ヨーヨー、風船、ラムネ、生ビール等、「来場の方々は夏の風物詩を満喫。最後は、恒例の大抽選会」で、幕を閉じました。

「前原納涼祭」は、25年前の昭和60年頃、当時の自治会、清寿会、子ども会育成会の役員さんが集まり、前原地区が一体となる「何か行事」を行って、地区のまちづくり、世代間交流に役立てたいと取り組まれました。当時の役員さんの英断とご努力が、この「前原納涼祭」として立派に受け継がれ、今日に至っています。

（栗岡 茂）

・池端町 子ども会で夏祭り

8月1日(日)に池端町子ども会主催による夏まつりを行い、子どもたち30余名や保護者などで賑わいました。かき氷やポップコーン、綿菓子、ヨーヨー、各種ゲームなどで楽しい一日を過ごしました。

(関口英明)

・青梨子町 納涼祭で世代間交流

8月29日(日)に青梨子町集会所で地域・世代間交流の目的のもと、青梨子町納涼祭が開催されました。

十数年前に始まつたこの行事、当時はカラオケブームも手伝つてカラオケ大会のようでもありました。町内いろいろなクラブに声をかけ、多くの方々に参加をいただき、午後のひと時を有意義に過ごしました。

(田村和夫)

・清野町 今年は猛暑、町民も熱く燃えている

夏休み中の子どもたち(小学生)が、町の伝統芸能・野良犬の獅子舞を、大粒の汗を流しながら猛特訓。この獅子舞は、吉岡町南下八幡宮に伝承されたものが、慶長年間に清野町に移入されました。舞う者は八幡神社の氏子によつて行われて来ました。このように氏子によつて伝承されているものは、



練習にも熱が入る野良犬獅子舞

ごく格式のある獅子舞で一般の町民は参加出来ませんでした。

昭和48年(今から三十七年前)前橋市指定重要無形文化財に指定された以降子どもたちに伝授し、今に伝承されています。

今年は八幡神社の秋祭の奉納と清里地区文化祭での披露予定で、この猛暑の中特訓で伝授しています。

清里地区の皆様、この機会に勇壮な野良犬獅子舞をぜひご覧ください。

(有坂眞次)

ら、午後12時30分までの2時間程度お茶を飲み、歌をうたい和やかな談笑や軽い体操をして、気軽に立ち寄れる集いの場として、会員14名の皆さんと楽しいひと時を過ごしています。

活動の一部を紹介しますと、8月のサロンでは、見事なそば打ちの実演を拝見し、昼食に冷たいおそばをいただき、のど越しの良さに大満足でした。

また、オクラの形を生かして、葉書や袴に模様を付けました。会員の皆さんから「楽しかったよ」と、言葉を掛けられると次の力や励みとなります。人生経験豊かな先輩方に、いろいろと教わることも多く感謝しています。これからも地域の方々のご支援をいただき、サロンの充実を図つていきたいと考えています。

(笹澤公子)

枝豆の豆を枝からもぐり、その豆を茹で中身を取り出す人、それぞれに分かれ、2時間ほどで終了しました。おいしい清里焼きを今年も清里地区文化祭などで、多くの皆様にめしあがつていただけそうです。

(新井博孝)

枝豆の豆を枝からもぐり、その豆を茹で中身を取り出す人、それぞれに分かれ、2時間ほどで終了しました。おいしい清里焼きを今年も清里地区文化祭などで、多くの皆様にめしあがつていただけそうです。

・食育部会



上青梨子町の「ふれあいいきいきサロン」

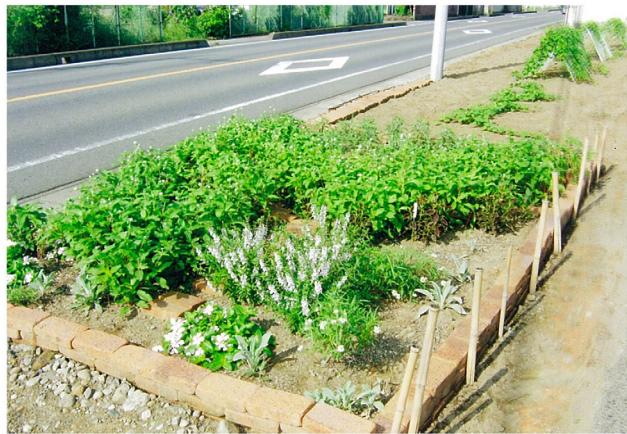


枝から豆をもぐ作業も楽しそう

清里・専門部会の活動あれこれ

このサロンを推進するにあたり、自治会、保健推進員さんのご協力のもと、毎月、第一月曜日の午前10時30分か

・花いっぱい運動部会



青梨子町に完成した「清里花はな花壇」

花いっぱい運動部会では、青梨子停留所（上野田・桃泉線）沿いの空き地を借りて「清里花はな花壇」を作りました。その空き地は、雑草のスギナが生い茂っていたので、6月から7月にかけて重機を投入し、また多くの方の協力でスギナの根を取り除く作業を行いました。そして7月24日（土）やつとレンガを使ったミニ花壇と、西洋朝顔（ヘブンリーブル）を植え花壇が完成しました。秋には、皆さんに楽しんでいただける花壇になればと思っています。暑い中の作業に多くの方々のご協力をいただいて、本当にありがとうございました。

（櫻井恭子）

（櫻井恭子）

花いっぱい運動部会では、青梨子停留所（上野田・桃泉線）沿いの空き地を借りて「清里花はな花壇」を作りました。その空き地は、雑草のスギナが生い茂っていたので、6月から7月にかけて重機を投入し、また多くの方の協力でスギナの根を取り除く作業を行いました。そして7月24日（土）やつとレンガを使ったミニ花壇と、西洋朝顔（ヘブンリーブル）を植え花壇が完成しました。秋には、皆さんに楽しんでいただける花壇になればと思っています。暑い中の作業に多くの方々のご協力をいただいて、本当にありがとうございました。

（松岡好一）

戦後六十五年・過去の追跡

熱き思いが今こみ上げる

終戦後65年、私は当時20歳の娘時代で日々不安で苦しい連続、毎日心の晴れたことはなかった気持ちがします。

女がてらに軍事教練を受け、隊長に大声で伝令をしたり、銃後を守るために竹槍の訓練を受けたり、ある時には

桃井から箕輪の浜尻まで足腰を鍛えるため、凌ぎ合いながら仲間と四キロの土嚢を背負って競い合つたり、現在の榛東温泉の南の赤松林で牛耕講習したり、村総出で松根掘りをして軍部で使用するガソリンの補充。また、ドングリ拾いなどして学校へ持参。桑の皮をむいて落丁傘や衣類繊維にするとか皆我慢して、私欲心も忘れて物資の不足を補うため我慢して協働切磋でお互いにやり遂げました。当時の先駆者はたいへんだったと思うと胸が熱くなりま

す。

また、振り返ると、終戦前に陸軍病院（現・榛名女子学園のところ）に慰問に行つたこともあります。その時は黒の袴をキリツとはいて、海行かば、水つく屍、「山行けば、草むす屍」を踊りました。

大君のへにこそしなめ帰り身はせじ。この時代の男性は我が身をふり捨て国のために、大君のためいさぎよく戦場へ赴いて行きました。当時の決心はたいへんな思い切りだつたろう。お互いに切磋琢磨して來たから暗い闇夜から抜け出てこられました。長生きしても今が幸福、無駄な生涯ではなかつた。充実したありがたき福祉の恵みを受けてあらゆることを経験しました。だから

月15日はお盆である。正しくは盂蘭盆といわれ旧暦の7月15日の中元に先祖・死者の靈を迎え、供物をそなえて供養する行事であった。茄子で馬を造り先祖送りをしたことが思い出される。

最近のニュースで高齢者の生存未確認が報道されている。核家族化や地域の連帯の希薄化が叫ばれている中でのこと、まちづくりで家族の絆や地域の結びつきの強化を図りたい。今回は青梨子町前原に居住する桜井福子さんからたいへん貴重な太平洋戦争中の思い出の投稿をいただき感謝している。

昭和16年12月8日、真珠湾攻撃で開戦した太平洋戦争も、数年後には不利となり、同時に国民生活も困窮し、耐え難きを耐え、忍び難きを忍ぶ」状況になってしまった。この時代を回想すると二度と戦争をしてはいけないと思う。

・そば打ち部会

毎月第二火曜日の午前中に実施している「そば打ち講習会」に参加できない方々をターゲットにした「夜のそば打ち教室」を8月24日と9月7日の2回コースで開催しています。これからそば打ちを始めたい方、習いたいという方は思い切つてお申込みいただきたいと思います。まだ間に合います。

（松岡好一）

8月15日の敗戦の日を迎えた。駐軍が相馬ヶ原の駐屯地に来ました。

勝つまでは」と誓い合つて努力し、國民一人一人が、皇國の精神で助け合つて生き抜いてきた。その甲斐もなく広島もB29に襲われ、原子爆弾が投下され、また前橋も空襲を受ける。米国進

勝つまでは」と誓い合つて努力し、國民一人一人が、皇國の精神で助け合つて生き抜いてきた。その甲斐もなく広島もB29に襲われ、原子爆弾が投下され、また前橋も空襲を受ける。米国進

国民の命言葉として

「一億一心、何も欲しがりません

勝つまでは」と誓い合つて努力し、國民一人一人が、皇國の精神で助け合つて生き抜いてきた。その甲斐もなく広島もB29に襲われ、原子爆弾が投下され、また前橋も空襲を受ける。米国進

家族の円満を図れたら何より健康で過ごして行きたいと。胸をなでおろす。一言を重石かえて余生行く遅き日に、七夕飾り若返る

（桜井福子）

くわの実

今年の夏は、例年はない猛暑日の連続であった。この現象は、私たちの住む地球の環境破壊が進んだことによるものであり、人類の責任においてこの危機を救わねばならぬと感ずる。8月15日はお盆である。正しくは盂蘭盆といわれ旧暦の7月15日の中元に先祖・死者の靈を迎え、供物をそなえて供養する行事であった。茄子で馬を造り先祖送りをしたことが思い出される。

最近のニュースで高齢者の生存未確認が報道されている。核家族化や地域の連帯の希薄化が叫ばれている中でのこと、まちづくりで家族の絆や地域の結びつきの強化を図りたい。今回は青梨子町前原に居住する桜井福子さんからたいへん貴重な太平洋戦争中の思い出の投稿をいただき感謝している。

昭和16年12月8日、真珠湾攻撃で開戦した太平洋戦争も、数年後には不利となり、同時に国民生活も困窮し、耐え難きを耐え、忍び難きを忍ぶ」状況になってしまった。この時代を回想すると二度と戦争をしてはいけないと思う。

（熙）